

「親子のふれあい～絵本をひらいてみませんか～」

対象	子育て親子等（主に乳幼児）
方法	参加型ワークショップ
時間	45分程度（臨機応変に）
ねらい	・親子が絵本を通して触れ合う機会を持ち、あたたかな声の響きやぬくもりを感じて親子間の愛着形成につなげる。 ・子どもが絵本の楽しさや感動を知り、言葉や想像力を豊かにして学ぶ力の基礎を作る初めの一歩となるように親子読書の良さを理解する。
進行のポイント	・笑顔で、ゆったり、参加者同士の会話を大切にしましょう。 ・「書きたくない、言いたくない時は無理をしないでくださいね」と言っておきましょう。 ・評価や否定をすることなく、参加者と同じ目線で寄り添いながら進めましょう。
事前準備	①「親のみちしるべ」 ②ペン・マジック ③付箋紙 ④模造紙 ⑤名札 ⑥アンケート

ワークショップの基本的な流れ

時間	段階	内容・参加者	形態	M→メインファシリテーター G→グループサポーター	留意点	備考
受付		◇受付・グループの確認 ◇名札の作成（ニックネーム等）	一斉			
10分	導入	①親のみちしるべのプログラムについての説明 ◇親のみちしるべのルールについて理解する。 ②グループ内で自己紹介 ◇アイスブレイク	グループ	M◇笑顔であいさつ MG◇ファシリテーター等紹介 M◇プログラムの趣旨説明 MG◇ルールの確認 MG◇グループで自己紹介 MG◇アイスブレイク	・明るい雰囲気を作り、笑顔で対応する。 ・言葉が多くなり過ぎないようにする。 ・参加者の年齢等に応じて、簡単なアイスブレイクを行う	・ワークシート等、資料の確認
25分	展開	③グループワーク1 ◆絵本の読み聞かせについて、皆さんはどうしているかを考える。 ④グループワーク2 ◆読み聞かせをしていて気付いたこと事を互いに共有する。 ◇絵本の紹介 ⑤グループワーク3 ◆皆さんの話を聞いて、考えたことやしてみたいことを情報交換する ・質問項目に対し、自分の考えや悩み等を付箋紙に記入したり、話したりする。 ・グループ毎に出された意見を、全体で共有する。	グループ	M◇ワーク1【ポイント】 ◆参加者が「読んでいない」ことを引け目に感じずに自然に話せる雰囲気づくり M◇ワーク2 ◆みなさんで、絵本の選択やついやってしまうことなどお互いの様子を共有する。 ◇絵本の紹介をする。 ◆読み聞かせを通して親子のつながりを大切にしましょうと伝える。 G◇グループワークの見守り。必要に応じて声がけ。 M◇グループ毎に発表してもらう。	・文章形式にこだわらず、箇条書きで良いことを伝える。 ・互いに多くの意見交換ができるように促す。 ・出された意見に共感しながら進める。	・ワークシート ・付箋紙 ・ペン - マジック ※模造紙
8分	まとめ	⑥振り返り ・ファシリテーターのまとめの話を聞く。 ・アンケートの記入。	一斉・グループ	M◇簡単にまとめの話をする。 ・ワークシート資料について説明する。時間がなければ、後ほど読むように呼びかける。	・参加者の考えや意見に共感しながら、簡単にまとめる。	・アンケート回収